



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月9日

上場会社名 株式会社 翻訳センター 上場取引所 東
 コード番号 2483 URL <https://www.honyakuctr.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二宮 俊一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括 (氏名) 魚谷 昌司 TEL 06-6282-5013
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	2,480	0.6	165	△7.6	168	△2.9	108	△3.4
2022年3月期第1四半期	2,465	12.7	178	—	174	—	111	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 115百万円 (△2.3%) 2022年3月期第1四半期 118百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	32.45	—
2022年3月期第1四半期	33.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	6,685	5,073	75.8
2022年3月期	7,172	5,090	70.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 5,073百万円 2022年3月期 5,090百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	0.00	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	5,350	7.6	340	5.3	345	4.1	230	4.6	69.02
通期	11,100	7.3	910	12.1	920	9.3	620	8.1	185.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	3,369,000株	2022年3月期	3,369,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	37,922株	2022年3月期	37,922株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	3,331,078株	2022年3月期1Q	3,327,078株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策や各種行動制限の緩和に伴い景気に持ち直しの動きが見られるものの、ウクライナ紛争の長期化や中国での新型コロナウイルス感染再拡大等を背景とする原材料やエネルギーの供給面における制約や急速な円安に伴う物価の上昇など、景気回復ペースの鈍化が懸念され、先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループを取り巻く環境におきましては、翻訳事業の需要は堅調に推移し、通訳事業の需要もオンライン通訳サービスの定着により回復傾向にあります。一方、コンベンション事業では国際的な人の往来に対する制限の一部は緩和されたものの、国際会議（学会・研究会）やセミナー・シンポジウム、各種展示会等の度重なる計画見直しなどが影響し、厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは2023年3月期からの3カ年計画である第五次中期経営計画に基づき、当社グループの中核をなす翻訳事業の持続的成長を目指すとともに翻訳支援ツールや機械翻訳など最先端技術の積極的な活用を推し進め、企業のグローバル展開に伴う翻訳・通訳需要の獲得に努めてまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、前年同期比で増収減益となりました。売上高は派遣期間終了者が増加した人材派遣事業と新型コロナウイルス感染症拡大の影響が継続しているコンベンション事業の2事業が前年同期を下回ったものの、コアビジネスである翻訳事業が堅調に推移し、前年同期比0.6%増の2,480百万円となりました。利益面は派遣事業とコンベンション事業の減収が影響し、営業利益は前年同期比7.6%減の165百万円、経常利益は前年同期比2.9%減の168百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比3.4%減の108百万円となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

① 翻訳事業

特許分野では前期に引き続き主要顧客である特許事務所からの受注が好調に推移したことに加え、企業の知的財産関連部署からの大型案件の獲得により、売上高は前年同期比13.5%増の631百万円となりました。医薬分野では顧客の試験スケジュールにより翻訳需要が一時的に減少したことに加えて、CRO（医薬品開発受託機関）からの受注減少も影響し、売上高は前年同期比8.5%減の654百万円となりました。工業・ローカライゼーション分野では、自動車、機械など製造業の顧客を中心に堅調に推移し、売上高は前年同期比1.9%増の461百万円となりました。金融・法務分野では東証の市場再編に伴いIR関連文書の受注が大幅に増加し、売上高は前年同期比14.9%増の153百万円となりました。

これらの結果、翻訳事業の売上高は前年同期比2.3%増の1,901百万円となりました。

② 派遣事業

語学スキルの高い人材を顧客企業に派遣する派遣事業においては、派遣期間終了者の増加に伴い常用雇用者数が前年同期を下回ったことに加え、新規受注が低調に推移したことから、売上高は前年同期比10.3%減の276百万円となりました。

③ 通訳事業

通訳事業においては、主要顧客である医薬品関連会社や精密・通信機器メーカーからの受注が好調に推移したことに加え、外資コンサルティング会社からの受注が伸長し、売上高は前年同期比20.6%増の184百万円となりました。

④ コンベンション事業

コンベンション事業においては、大規模な国際会議やイベントの開催に伴う制限の長期化に加え、サービスのデジタル化に伴う案件の規模縮小の影響が継続しており、売上高は前年同期比65.4%減の14百万円となりました。

⑤ その他

その他のセグメントにおいては、外国への特許出願に伴う明細書の作成や出願手続きを行う株式会社FIPASが低調に推移したことに加え、語学教育事業では通訳者・翻訳者養成スクール「アイ・エス・エス・インスティテュート」の春期レギュラーコースの受講者数が伸び悩み、売上高は前年同期比0.5%増の104百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は5,785百万円となり、前連結会計年度末に比べ525百万円減少いたしました。これは主に翻訳事業の代金回収により、受取手形及び売掛金が減少しているためであります。固定資産は899百万円となり、前連結会計年度末に比べ38百万円増加いたしました。

この結果、総資産は6,685百万円となり、前連結会計年度末に比べ487百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,416百万円となり、前連結会計年度末に比べ474百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等や賞与引当金が減少したことによるものであります。固定負債は195百万円となり、前連結会計年度末に比べ4百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は1,611百万円となり、前連結会計年度末に比べ470百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は5,073百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円減少いたしました。これは主に剰余金の配当を実施したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月12日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,899,282	3,737,926
受取手形及び売掛金 (純額)	2,110,625	1,750,737
仕掛品	135,705	177,945
その他	165,660	119,072
流動資産合計	6,311,274	5,785,682
固定資産		
有形固定資産	40,625	38,763
無形固定資産	66,484	64,913
投資その他の資産	754,298	796,050
固定資産合計	861,408	899,727
資産合計	7,172,683	6,685,409
負債の部		
流動負債		
買掛金	812,213	680,761
未払法人税等	252,171	78,373
返金負債	5,772	1,763
賞与引当金	287,477	142,783
その他	533,801	512,916
流動負債合計	1,891,437	1,416,598
固定負債		
役員退職慰労引当金	3,200	3,200
退職給付に係る負債	187,063	191,885
固定負債合計	190,263	195,085
負債合計	2,081,701	1,611,684
純資産の部		
株主資本		
資本金	588,443	588,443
資本剰余金	478,823	478,823
利益剰余金	4,094,968	4,069,824
自己株式	△93,283	△93,283
株主資本合計	5,068,951	5,043,806
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	25,778	33,304
退職給付に係る調整累計額	△3,747	△3,386
その他の包括利益累計額合計	22,031	29,918
純資産合計	5,090,982	5,073,725
負債純資産合計	7,172,683	6,685,409

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	2,465,142	2,480,715
売上原価	1,291,227	1,287,440
売上総利益	1,173,914	1,193,275
販売費及び一般管理費	995,021	1,028,050
営業利益	178,893	165,224
営業外収益		
持分法による投資利益	2,794	7,118
その他	164	420
営業外収益合計	2,959	7,538
営業外費用		
為替差損	7,334	3,815
その他	386	0
営業外費用合計	7,720	3,815
経常利益	174,131	168,947
特別損失		
固定資産除却損	—	12
特別損失合計	—	12
税金等調整前四半期純利益	174,131	168,935
法人税等	62,204	60,837
四半期純利益	111,927	108,098
親会社株主に帰属する四半期純利益	111,927	108,098

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	111,927	108,098
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	7,834	7,526
退職給付に係る調整額	△1,012	360
その他の包括利益合計	6,821	7,887
四半期包括利益	118,749	115,986
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	118,749	115,986
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	翻訳事業	派遣事業	通訳事業	コンベン ション事業	計		
売上高							
翻訳							
特許	556,157	—	—	—	556,157	—	556,157
医薬	715,422	—	—	—	715,422	—	715,422
工業・ローカラ イゼーション	452,796	—	—	—	452,796	—	452,796
金融・法務	133,619	—	—	—	133,619	—	133,619
人材派遣	—	308,434	—	—	308,434	—	308,434
通訳	—	—	152,722	—	152,722	—	152,722
コンベンション	—	—	—	42,291	42,291	—	42,291
その他	—	—	—	—	—	103,697	103,697
顧客との契約から 生じる収益	1,857,996	308,434	152,722	42,291	2,361,445	103,697	2,465,142
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上 高	1,857,996	308,434	152,722	42,291	2,361,445	103,697	2,465,142
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	12,026	—	6,450	—	18,476	156	18,632
計	1,870,022	308,434	159,173	42,291	2,379,921	103,853	2,483,775
セグメント利益又は 損失(△)	170,694	25,787	△6,888	△7,021	182,571	△5,047	177,524

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外国出願支援事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	182,571
「その他」の区分の利益	△5,047
セグメント間取引消去	1,368
四半期連結損益計算書の営業利益	178,893

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	翻訳事業	派遣事業	通訳事業	コンベン ション事業	計		
売上高							
翻訳							
特許	631,723	—	—	—	631,723	—	631,723
医薬	654,446	—	—	—	654,446	—	654,446
工業・ローカラ イゼーション	461,559	—	—	—	461,559	—	461,559
金融・法務	153,542	—	—	—	153,542	—	153,542
人材派遣	—	276,388	—	—	276,388	—	276,388
通訳	—	—	184,214	—	184,214	—	184,214
コンベンション	—	—	—	14,621	14,621	—	14,621
その他	—	—	—	—	—	104,219	104,219
顧客との契約から 生じる収益	1,901,271	276,388	184,214	14,621	2,376,495	104,219	2,480,715
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上 高	1,901,271	276,388	184,214	14,621	2,376,495	104,219	2,480,715
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	14,127	—	10,777	—	24,905	295	25,200
計	1,915,399	276,388	194,991	14,621	2,401,401	104,514	2,505,916
セグメント利益又は 損失(△)	186,658	13,017	△3,960	△22,858	172,856	△9,159	163,697

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外国出願支援事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	172,856
「その他」の区分の利益	△9,159
セグメント間取引消去	1,526
四半期連結損益計算書の営業利益	165,224

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、従来報告セグメントとして開示しておりました「語学教育事業」は、量的な重要性が低下したため、報告セグメントから除外し「その他」として記載する方法に変更しております。

また、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。